

私たちは、食を通じて社会に貢献します。



SRS HOLDINGS

第57期 中間報告書

令和6年4月1日から令和6年9月30日まで

SRSグループを「人を大切にする会社」に



代表取締役 執行役員社長

重里 政彦

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

当社グループは、「私たちは、食を通じて社会に貢献します。」というフィロソフィー(企業哲学)のもと、和食を中心としたレストランチェーンとして、創業以来一貫して「食」のビジネスを展開してきました。特に、この数年間は、新型コロナウイルスの影響で、生活者の様式がスマート化社会などのニューノーマル(新常态)に向けて大きく変化し、非接触型サービスやデジタル化などが急速に発展しました。また、「食」分野ではテイクアウトやデリバリーなどの「中食」分野が急成長しています。このような目まぐるしい変化のなかで「食の社会的インフラ」としての存在感をさらに高めていくことが、当社グループに課せられた使命であると考えています。

私は、社内で「企業としてどんな社会貢献ができるか」と言い続けています。社会への貢献度で分かりやすい指標は「ご来店いただくお客様の数」です。SRSグループの店舗に足を運んでくれるということは、おなかを満たす目的、楽しい時間を大事な人と過ごす目的を感じて選んでいただいているのです。

お客様の数を増やすためには顧客満足度(CS)を高めることが重要ですが、そのためには、従業員満足度(ES)を高めなければなりません。従業員を幸せにできなければ、お客様を幸せにすることはできないのです。そこで、当社グループでは7日間連続の長期休暇制度の取得推進や短時間正社員制度の拡充、多様な人材を育成するための幅広い研修の実施など、働きやすい環境を整え、ひとりでも多くの従業員が「SRSグループで働くこと」に幸せを感じてもらえるように取り組んでいます。

そして、私たちはこれからも多くのお客様に選ばれ、喜んでいただける商品やサービスの提供を通して持続的成長を目指してまいりますので、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申しあげます。

フィロソフィー

私たちは、食を通じて社会に貢献します。

私たちは、人々が生きていく上で最も大切な「食」を事業の柱とし、潤いのある、楽しい食事の機会を提供することにより、豊かな暮らしを実現します。そして、地域になくってはならない企業として、適正な利益を確保しながら、社会の繁栄に役立つ様々な活動を推進していきます。

産官学連携で推進する食品ロス削減の取り組みが、 環境省の「mottECO（モッテコ）導入モデル事業」に採択

当社が参加する産官学アライアンス「mottECO普及コンソーシアム^{*1}」として推進する食品ロス削減の取り組みが、環境省「令和5年度食品の消費行動に伴う食品ロス削減対策導入モデル事業^{*2}」に採択されました。

mottECO普及コンソーシアムは、外食事業8社、ホテル事業8社、中食事業1社、2つの自治体、2つの大学合わせて21団体からなる、食品ロス削減推進を目的とした産官学連携アライアンスです。

※1 連携団体

※2 令和5年度補正予算による事業として実施。対象期間は令和6年5月31日～令和6年12月27日

今回採択されたのは、「産官学連携によるmottECO普及推進を通じた食品ロス削減事業」で、「食品ロス・食品廃棄物削減」という社会課題について、産官学連携により、全国でも例を見ない規模でのソリューション提供に挑戦する取り組みです。

「産」「官」「学」はそれぞれの特性に応じて、以下の役割を担います。

- ・「産」：競合の垣根を超えた複数の事業者によるmottECO導入と実践
- ・「官」：関係省庁(国)の発信に則った取り組み推進と、地域課題(自治体)の解決
- ・「学」：事業者には難しい調査、研究、情報提供、Z世代への発信

mottECOの取り組みは、お客様が食べ切れない料理のお持ち帰りをご希望された場合、安全にお召し上がりいただくための注意喚起チラシと容器をお渡しし、ご自身の責任においてお持ち帰りいただくことで、「食べ残したものは自分の責任で持って帰り、ごみにしない文化」の創造と普及を図るものです。

当社グループでは、運営する「和食さと」において、食品廃棄物量の削減に向け、2006年より様々な施策に取り組み、店舗から発生する食品廃棄物量をこれまで30%以上削減するとともに、お客様と一緒に取り組む「食べ切りキャンペーン」や少量メニューの開発などにも取り組んできましたが、それでも発生する食べ残しの削減に向けて、より事業者側の意識と消費者行動の変革を促すため、環境省が推進する「自己責任による食べ残し持ち帰り＝mottECO（モッテコ）」へ本年も参画し、食品廃棄物の更なる削減に引き続き取り組むことといたしました。



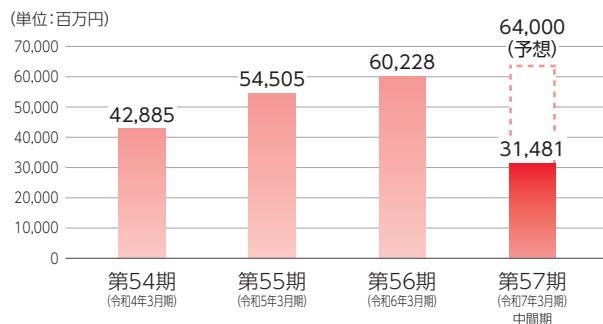
● 「mottECO（モッテコ）
導入モデル事業」に採択⇒



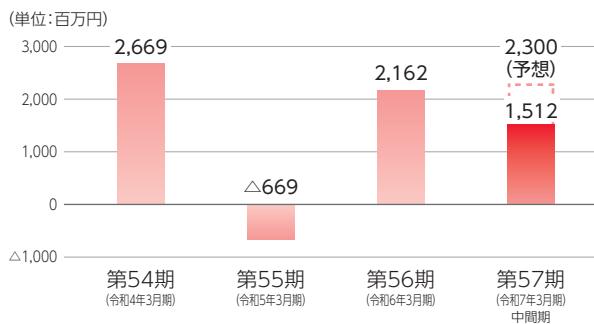
● 「mottECO（モッテコ）」とは
環境省Webサイト ⇒



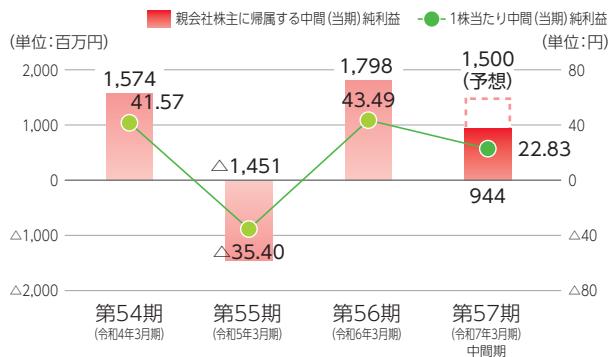
売上高



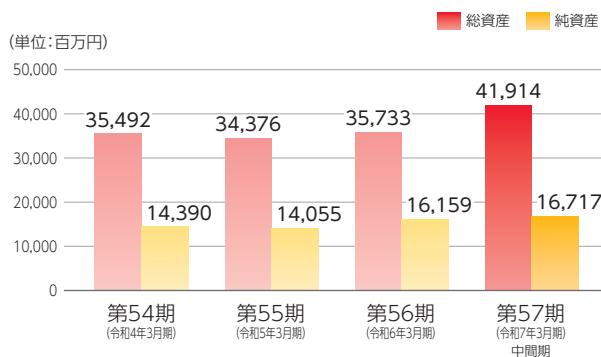
経常利益



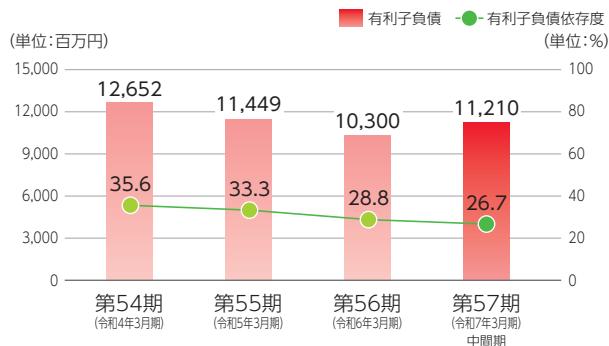
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 / 1株当たり中間(当期)純利益



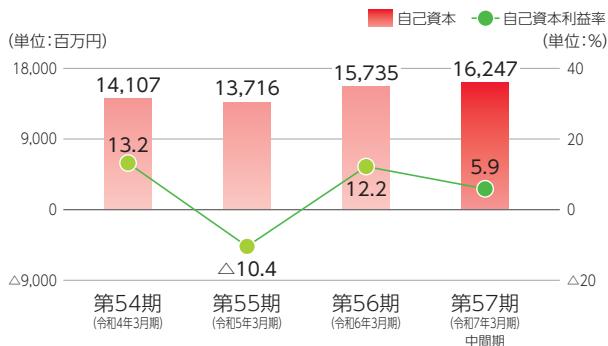
総資産 / 純資産



有利子負債 / 有利子負債依存度



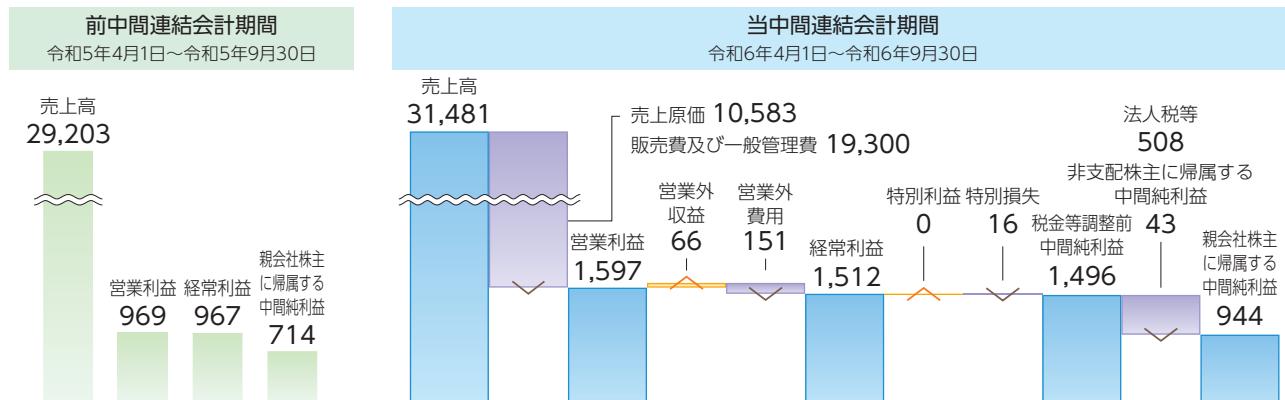
自己資本 / 自己資本利益率



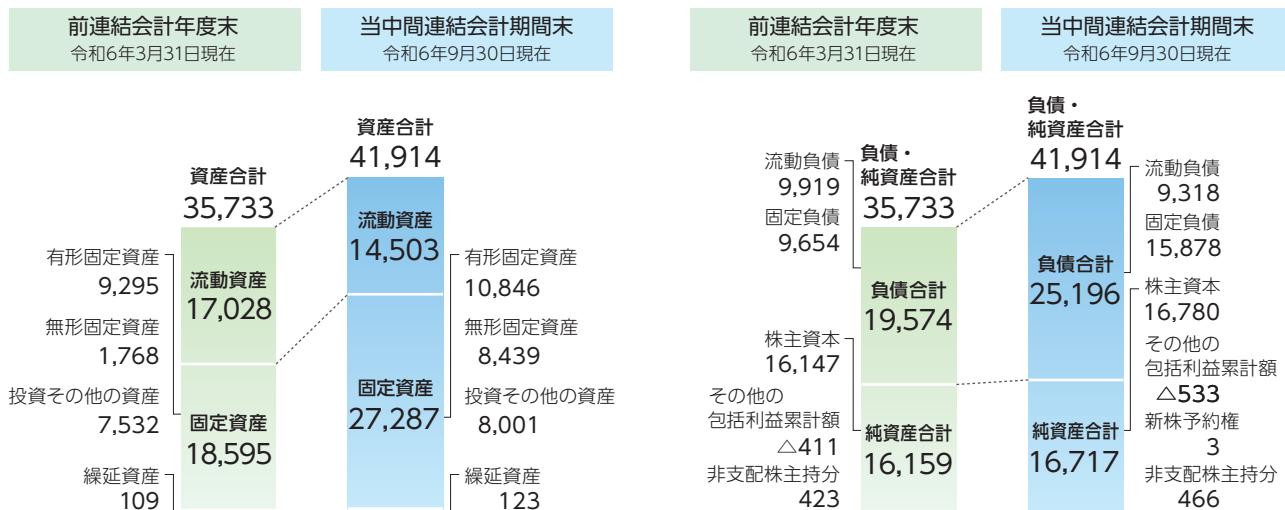
※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※(予想)は令和6年11月5日に開示しております「令和7年3月期第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)」によるものです。

中間連結損益計算書(要約) (単位:百万円)



中間連結貸借対照表(要約) (単位:百万円)



■ 株式の状況 (令和6年9月30日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 41,470,184株
 株主数 29,123名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,286,100	7.9
エイチ・ツー・オーテイリング株式会社	2,557,404	6.2
重 里 欣 孝	1,700,042	4.1
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	1,199,750	2.9
重 里 百 合 子	769,708	1.9
麒 麟 麦 酒 株 式 会 社	600,000	1.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	431,600	1.0
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	404,936	1.0
ア サ ヒ ビ ー ル 株 式 会 社	300,000	0.7
SRSホールディングス従業員持株会	218,660	0.5

(注) 当社は、自己株式343株を保有しており、持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

■ 所有者別株式の分布状況 (令和6年9月30日現在)



■ 会社情報 (令和6年9月30日現在)

商 号 SRSホールディングス株式会社
 設 立 昭和26年4月
 (実質上の営業開始年月は昭和43年8月)

資 本 金 110億77百万円
 従業員数 単体 97名 パートタイマー 6名
 連結1,740名 パートタイマー14,949名
 ※単体数値はSRSホールディングス株式会社のもの。
 連結数値は重要な子会社を含む。

株式上場 東証プライム市場
 主な事業内容 グループ会社の経営管理および関連業務等
 事業所 本 社
 大阪市中央区安土町二丁目3番13号
 物流事務所
 大阪府茨木市丑寅一丁目1番88号

重要な子会社 サトフードサービス株式会社 「和食さと」他
 株式会社フーズネット 「にぎり長次郎」他
 株式会社家族亭 「家族亭」他
 株式会社アミノ 「うまい鮎鮎」他
 M&Sフードサービス株式会社
 「定食屋宮本むなし、ひまわり」他
 株式会社NIS 「鶏笑」他
 サト・アークランドフードサービス株式会社 「かつや」他
 台湾上都餐飲股份有限公司 「和食さと」

● SRSグループ
 会社案内 ⇒



■ 役員 (令和6年9月30日現在)

代表取締役執行役員社長 重 里 政 彦
 取締役会長 重 里 欣 孝
 取締役執行役員 池 田 訓
 社 外 取 締 役 片 山 幹 雄
 取締役(常勤監査等委員) 田 中 正 裕
 社外取締役(監査等委員) 宮 本 圭 子
 社外取締役(監査等委員) 川 井 一 男
 社外取締役(監査等委員) 佐 藤 ゆかり

SRSグループの取り組み

【SDGsに対する基本的な考え方】

SRSグループは、「私たちは、食を通じて社会に貢献します。」をフィロソフィーとした事業活動を通じて、SRSグループの価値観に共感や支援をしてくださるステークホルダーの皆さまと共に成長し、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に向けて、社会課題の解決と価値の創造に取り組んでまいります。

SRSグループのCSR



●SDGsに対する基本的な考え方⇒



●サステナビリティに関する各種データ⇒



●DREAM【夢見る】働きやすい職場環境に⇒



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当 期末配当 3月31日
受領株主確定日 なお、中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業部

公告の方法 電子公告により行います（公告掲載URL
<https://srs-holdings.co.jp/>）。
ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。

特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

株主御優待券のご利用について

当社が発行しております株主御優待券は、サトフードサービス株式会社の「和食さと」「天丼・天ぷら本舗 さん天」「法善寺夫婦善哉」、株式会社フーズネットの「にぎり長次郎」「CHOJIRO」「宅配にぎり長次郎」、株式会社家族亭の「家族亭」「得得うどん」「得得」「花旬庵」「三宝庵」「家族庵」「うどんの詩」「蕎麦」「うどんのう」「蕎菜」「とくとく」「海鮮丼家族庵」、M&Sフードサービス株式会社の「ひまわり」各店舗でご利用いただけます。

なお、2024年12月に発行（有効期限2025年6月30日）の株主御優待券から、株式会社アミノの「うまい鮎勘」「うまい鮎勘ゆとろぎ」「鮎正」「まるくに」「まるかん」各店舗でもご利用いただけるようになりました。

※令和6年9月30日時点の株主名簿に記載または記録されている、1,000株以上ご所有の株主様に12,000円（消費税を含む）相当額の株主御優待券を贈呈しております。

●株主優待制度
について ⇒



令和6年7月 新たに株式会社アミノが SRSグループ入り

●株式会社アミノの
ホームページ ⇒



株式会社アミノは、グルメ回転寿司業態「うまい鮎勘」を始めとした飲食店を東北地域中心に国内に32店舗、海外に2店舗（令和6年7月末現在）展開しており、市場の買参権を活かした高い調達力や、市場直送の鮮魚を店舗で捌き、新鮮なネタを寿司職人が握る提供スタイル、高い商品力を活かした顧客を飽きさせない豊富なメニュー等により、東北地域、特に宮城県では高い知名度を誇り、顧客からの高い支持を集めるグルメ回転寿司チェーンです。



ホームページのご案内 <https://srs-holdings.co.jp/>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に向けて、企業情報や財務情報について、情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

UD FONT

